

# 西谷会計

平成28年6月号



## 【所長の本棚より ～「帳簿の世界史」～】

本日紹介するのは「帳簿の世界史」。なぜ世界帝国スペインは滅びたのか、どうしてフランス革命は起こったのか、アメリカはどのように発展したのか、その他イタリア、オランダ、イギリスなどの経済発展と帳簿との関わりを扱った本です。このようなテーマを統一的に扱った書籍を目にした記憶はありませんので、なかなか独自性のある本だと思います。

太陽王として知られるルイ14世は、ポケットに入れて持ち運べる帳簿を携帯していたそうです。フランス国立図書館には「ルイ14世の帳簿」と題する20冊の小型の帳簿が収蔵されているとか。時の財務総監であるコルベールが編集したもので、様々な勘定を見やすく取りまとめ、その年度の最終収支を示した一冊が作成されました。

1683年にコルベールは亡くなりますが、ルイ14世は後任を任命しなかったことに加えて、携帯用の帳簿を作成することもやめてしまったそうです。というのも、ルイ14世は帳簿の便利さに気づいていたものの、それが自分の権力基盤に楯突くものと感じていたようだとか。実際、帳簿というのは国内の産業や財政の現状をあまりにはっきりと示します。「絶対王政」とはその名のとおりに、国王の権力は絶対的なものですから、誰かが王の国家運営を評価しては絶対王政にはならない、王は神に対してのみ責任を負うということです。

このあたりのお話は、中小企業の社長さんにも当てはまりそうなお話で、会社の数字を知らないし、知ろうともしない方はたくさんいらっしゃいます。「経理の透明性」ということで社内に数字を公表する方もいます。決算書は社長の経営能力の通信簿ですから、従業員にハッパをかけるための道具ではありません。結局のところ、秘密主義が権力確保の源泉となるのです。

ルイ16世の治世にはフランス革命が起こりますが、その一因が時の財務総督ネッケルの作成した「国王への会計報告」(1781年)です。これはフランスの財政が黒字であることを対外的に示すために作成されたもので(数字は粉飾)、当時としては画期的なことでしたが、結果的に、宮殿を維持するための費用や王室費があまりに巨額であることを示すことになり、民衆の怒りを買いました。革命が起こってブルボン王朝は崩壊するのは、「国王への会計報告」が公表されてから、わずか8年後のことでした。帳簿の威力はとても大きいということの証左ではないでしょうか。



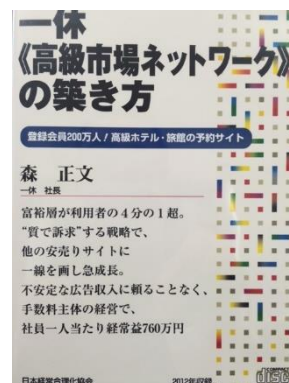
## 【所長のDVDコレクションより～「一休」～】

本日紹介するのは、インターネット宿泊予約サービス「一休.com」を運営する「一休」社長の森正文さんです。大学卒業後に日本生命に入社、同社の資金運用部やリーマンブラザーズへの出向を経験した後1998年に退社して起業しました。2000年に一休.comを立ち上げ、2005年には東証1部に上場し、2016年2月にヤフーのTOBにより子会社となりました。

森さんは起業したものの何をよいかかわからず、残高が減り続ける通帳を眺めて、いつ資金が枯渇するかを指折り数えていたそうです。初めに思いついた「ホテルの部屋をオークション」するアイデアは、大手ヤフーが進出したのを受けて「もう勝てない」と、すぐさま撤退する羽目になったそうです。それでも、それがもとでホテルの人たちとつながりを持つようになりました。

ホテルの人にあいさつ回りをしている最中に、口をそろえて言われたのは「究極の生ものは寿司屋のネタではなくホテルの部屋」ということでした。寿司屋のネタは冷蔵庫にしまって翌日お客に出すことができますが、ホテルの昨日の部屋を買う人はいません。また、ホテルはブランドこそが命で、同じ空気をブランドを高めて高く売るのがホテルの商売ともいわれました。

名もない会社がサイトを立ち上げて誰も見てくれない。でも、ブランド価値のあるホテルを集めるとブランド価値のあるサイトが出来上がると考えて、森さんは高級ホテルだけの宿泊予約サイトをつくったのです。



## 【夏子の部屋】

もう、6月ですね。早い、早い。「でも、新年度になってからはまだ2ヶ月だわ！」と開き直っている夏子です。皆様、こんにちは。

6月といえばカレンダーは真っ黒、祝日が一日もありません。5月の連休が終わると7月の半ばまでずーっと祝日がないのですよ。なんでこんなにバランスの悪い暦の組み方をするんだらう、と毎年ぶーぶー言っています。祝日がないからと凹んでいてはもったいないと、天気の良い週末にお出かけしました。弘前のアップルロードドライブです。

アップルロードは青森県弘前市にある弘前南部広域農道の愛称で、青森県弘前市石川と百沢を結ぶ約22kmの道路です。元々はりんご出荷の際の交通渋滞を解消するために建設された道路でした。昭和54年に完成して以来、地域のりんご産業にも大きく貢献してきました。アップルロードはその名の通り、りんご畑の真ん中をずっと進みます。春は白く美しいりんごの花、秋は様々な種類のりんごに囲まれた絶好のドライブコースとなっています。

5月14日、快晴ぽかぽか陽気、チョコレート、プレーンラスク、麦茶、バナナ、干し梅。おやつとCDもお気に入りを持ちました。こんな良いお天気ならりんごの花は一面に咲いているかな～？ワク、ワク、うふふ！ まだもっとなしている顔(急遽出発した為化粧が途中)を窓の外に向け期待でいっぱいです。

実はその9日前5月5日にもアップルロードをドライブしているのです。その日は生憎天気がぱっとせず肌寒かったのでイマイチりんごの花も映えませんでした。ニュースでは満開の品種もあると言っていました。想像していた満開には遠かったので、「まだ時期が早かったんだな。」と自分に良い様に解釈して、頂上に雲が掛かり半分しか見えない岩木山を見ながら帰ったのでした。

ですから14日はもう満を持しての再ドライブなのです。心の中では「今日こそりんごの花いっぱいのロードを見るぞ、その中を走るぞ、写真を撮るぞ！！！」とガツガツしていました。(口には出しませんが)前回は何処からがアップルロードなのかが分からず岩木山が見えれば写真を撮り、りんごの花が咲いてれば連写し、と忙しかったのですが今回は二回目のドライブだから余裕です。

真っ青な空と頂上に雪が白く残る雄大な岩木山、そして可憐な白い花を付けたりんごの木がずーっと続く景色！とても爽やかです、気持ちが晴れます、来て良かったです。肝心のりんごの花の咲き具合はと言うと前回とそれほど変わり無いように思いました。満開は過ぎていたらしいです。りんごの花は近くで見ると本当に可愛い。白とピンクのぷっくりしたお花、品種によっても違います。りんごの花に桜の満開をイメージすることが間違いなのでしょうね。

今度は真っ赤なりんごの実がなっているアップルロードを走ってみたいと思いました。ちなみに5月5日は弘前さくらまつりの最終日でしたので弘前公園にも行って見たのですが、桜はほとんど全くといいほど葉桜でした。人もまばらで数えるほど、あんなに疲れた感じの早く片付けたいムード漂うさくらまつりが見られた事は貴重でした。弘前桜まつりでもあんな風になるんだな～。



西谷会計事務所

〒030-0821 青森市勝田2-6-18

<http://www.248nishiya.com>

TEL 017-774-2315

E-mail nishiya-kaikai-jimusyo

@tkcnf.or.jp